親字	音訓	甲骨文・金文・古文（殷・西周・春秋・戦国）			説文解字 秦篆	隷書（秦・前漢・後漢）		草書	行書	楷書（南北朝から初唐）		正字体 楷書	日本上代から平安初期
奏 教6常①	ソウ かなでる すすめる	甲骨		睡虎地秦簡	説文篆文	馬王堆	乙瑛碑	書譜	興福寺断碑	鄭羲下碑	昭仁寺碑	九経字様・序	瑚玉集
		甲骨			説文古文	居延漢簡	西嶽華山廟碑						
					説文古文	新居延漢簡							
套 人①	トウ												
奥 常①	オウ おく くま				説文篆文		甘陵相残碑	集字聖教序		墳資墓誌	雁塔聖教序	五経文字	王勃詩序
奥 人②							禮器碑				等慈寺碑		
奨 常①	ショウ すすめる たすける				説文篆文					敬史君碑	樊興碑		聖武天皇雑集
奬 人②										墳資墓誌			
奬 ②										陳厥墓誌			
奪 常①	ダツ うばう		金文	睡虎地秦簡	説文篆文	銀雀山竹簡	北海相景君碑			元緒墓誌	皇甫誕碑	干禄字書	杜家立成
						馬王堆					皇甫誕碑	五経文字	聾瞽指歸
						馬王堆							

平安中期から室町	江戸版本	康熙字典1716年 部首・画数	弘道軒四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41～大正3年	漢字整理案 大正8年	文部省活字 昭和10年	当用漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考	
元暦萬葉⑥	節用	大6			教科書〈俗〉								現代中国
		古文											
		古文											
		古文											
		古文											
	開化往来	大7											現代中国
元暦萬葉①	五経無尽蔵	大10			陸軍								現代中国
	五経無尽蔵												中国繁体
伝藤原行成	節用				漢字要覧								現代中国
		大11											中国繁体
		大11											
藤原行成	節用	大11										干禄〈俗〉	現代中国
	庭訓往来	古文											

【奥】説文篆文の字形を楷書にすれば「奥」の方が近いとおもうのだが、五経文字では「奥」。中国でも日本でも書かれていた字体は「奥」。「奥」は康熙字典、文部省活字、当用漢字表。太宰治が「奥」を書いているのが興味深い。

【奨】中国から日本の平安時代まで下部を「廾」にしている。江戸期以降は下部を「大」にしている。康熙字典は「奬」を「大」の部首に「奬」を「犬」の部首に載せている。説文篆文に従えば「奬」のはずだが文部省活字も当用漢字表も「奨」。

【奪】下部を「集」にする異体字があり、干禄字書では〈俗〉とするが平安以降の日本では書かれることが多く、漱石も書いている。

※当用漢字字体表の下の○×は、複数の字体がある字種のうち昭和24年当時、岩田母型製造所での母型の有無を示す。